

農業振興計画推進委員の皆様からの【質問】

P34

・直売所は庭先と共同含みますか。

⇒含みます。

P35

・スーパーに農産物を卸している農業者は、どのような経緯でそのような販路を確保してきたのかを知りたいです。また、どのような課題がありますか。

⇒新規にできるスーパーなどは、近隣の農業者に声をかけている。

課題:注文に対して荷が足りない。インボイス制度になり、廃業を考える生産者がいる。

端境期の売り上げが課題。

・めぐみちゃんメニューの導入はどのような手順で進められているのですか。

⇒ネットなどを活用して新規オープンするお店にとびこみで話をしたり、お店の方から市内産農産物を使うので、めぐみちゃんメニューに参加したい等連絡があると、説明に行き、メニューを考えてもらい、めぐみちゃんメニュー事業者として登録する。

・「めぐみちゃんブランド」について、「安全なものとして市が推奨する野菜、果物」であるとするのは、どのような根拠に基づくものなのかがよくわかりませんでした。めぐみちゃんブランドの農産物はつまり、「西東京市内産」の農産物であるという理解にとどまりましたが、この理解で正しいでしょうか。

⇒基本的に市内産野菜については新鮮で安全であるものという認識です。その市内産野菜であるということで、イメージキャラクターのめぐみちゃんを使ってPRしています。

・「市内産農産物の品質向上」について具体的にどのような方策のことですか。たとえば、減農薬の推進などはこの方策に含まれていますか。

⇒品質向上につながることに関して支援の検討・実施を行います。減農薬といった環境負荷を軽減する農業については、「環境負荷を軽減する農業への支援」の事業に含まれます。

P37

・宅地の農地創設とはどのようなことですか。

⇒宅地を農地として創設することです。

・貸借は個人対個人の契約しか認められないのでしょうか？

⇒法人(社会福祉法人含)対個人の貸借事例もあります。

P38

・「災害時協力農地」はどのような手続きで結ばれているのですか。

⇒災害時の際に協力できる農地を農業者が JA に伝え、JA と市(危機管理課)で協定を結んでいます。

P40

・女性就農者は何人いるのか？女性の新規参入希望者はいるのでしょうか。

⇒令和 2 年農業センサスでは、女性の農業従事者数は 189 人となっております。農業センサスでは農業経営体からの人数となっていることと、家族で営農している方も多くあるため、もう少し人数が多くなるかと思えます。認定農業者の中の人数 68 人中女性を含む家族協定数が 52 人となっております。

P43

・学童農園の検討はありますか。

⇒以前より、学校で学校農園という形での取り組みをしています。現在市内小学校 4 校(他1校一部契約)が農業者の圃場で実施しています。また、その他学校内で作物を栽培している学校もあります。